

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 22 年 4 月 2 日 (2010.4.2)

【公表番号】特表 2009-536399 (P2009-536399A)  
 【公表日】平成 21 年 10 月 8 日 (2009.10.8)  
 【年通号数】公開・登録公報 2009-040  
 【出願番号】特願 2009-509586 (P2009-509586)  
 【国際特許分類】

G 0 6 F 9/445 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 9/06 6 1 0 J

【手続補正書】

【提出日】平成 22 年 2 月 5 日 (2010.2.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

オペレーティングシステムをコンピュータ装置上で段階的にブート処理する方法であって、

第 1 のブートイメージを取得するステップ (405) と、

前記第 1 のブートイメージを用いて前記ブート処理を開始するステップ (425) と、

第 2 のオペレーティングシステムイメージを取得するステップ (440) と、

前記第 2 のオペレーティングシステムイメージを前記第 1 のブートイメージに連結するステップ (445) と、

を含み、

前記オペレーティングシステムは、前記第 1 のブートイメージ及び前記第 2 のオペレーティングシステムイメージを含む

ことを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記第 1 のブートイメージを取得するステップは、前記第 1 のブートイメージを、前記コンピュータ装置上の記憶装置とネットワークロケーションとの何れかから取得するステップを含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記第 2 のオペレーティングシステムイメージを取得するステップは、ネットワーククライアントをロード処理し、前記ネットワーククライアントを用いて前記第 2 のオペレーティングシステムイメージをネットワークロケーションから取得することを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記第 1 のブートイメージを前記ネットワークロケーションから取得するステップは、インテルプレブート実行環境 (PXE) 標準を用いるステップを含むことを特徴とする請求項 2 に記載の方法。

【請求項 5】

前記ネットワーククライアントがロード処理されたとき、前記コンピュータ装置のブート処理を中断し、認証処理を実行するステップをさらに含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

**【請求項 6】**

前記第 2 のオペレーティングシステムイメージが前記第 1 のブートイメージに連結された場合に、前記ブート処理を継続するステップをさらに含むことを特徴とする請求項 5 に記載の方法。

**【請求項 7】**

前記第 1 のブートイメージ及び前記第 2 のオペレーティングシステムイメージは、前記コンピュータ装置上で別々のファイルとして基盤ファイルシステムに保持されていることを特徴とする請求項 6 に記載の方法。

**【請求項 8】**

前記ネットワーククライアントを用いて前記第 2 のオペレーティングシステムイメージを取得するステップは、マルチキャストプロトコルを用いるステップを含むことを特徴とする請求項 7 に記載の方法。

**【請求項 9】**

オペレーティングシステムを段階的にブート処理するコンピュータ装置であって、  
プロセッサと、  
コンピュータ読取可能な記録媒体 14 と、  
ネットワークインタフェースユニット 20 と、

前記コンピュータ読取可能な記録媒体に格納されたオペレーティング環境であって、前記プロセッサ上で実行され、前記ネットワークインタフェースユニットとのインタフェースを備えるネットワーククライアントを含む第 1 のブートイメージ 26 を取得するように構成され

たオペレーティング環境と、

を含み、

前記ネットワーククライアントは、第 2 のオペレーティングシステムイメージ 32 をダウンロードするよう構成され、

前記第 1 のブートイメージ及び前記第 2 のオペレーティングシステムイメージは、前記オペレーティングシステム 16 を形成するために連結される

ことを特徴とするコンピュータ装置。

**【請求項 10】**

前記オペレーティング環境は、前記第 1 のブートイメージを前記コンピュータ読取可能な記録媒体からロード処理し、前記第 1 のブートイメージを用いて前記オペレーティングシステムをブート処理するように構成されることを特徴とする請求項 9 に記載のコンピュータ装置。

**【請求項 11】**

前記オペレーティング環境は、前記第 1 のブートイメージを前記ネットワークインタフェースユニットを用いてネットワークロケーションから取得するように構成されることを特徴とする請求項 9 に記載のコンピュータ装置。

**【請求項 12】**

前記第 1 のブートイメージの前記ネットワークロケーションからの取得は、前記ネットワークインタフェースユニットにおいてインテルプレット実行環境 (PXE) 標準を用いることを特徴とする請求項 11 に記載のコンピュータ装置。

**【請求項 13】**

前記ネットワーククライアントのロード処理後、前記第 2 のオペレーティングシステムが取得されるまで、前記コンピュータ装置のブート処理を中断する手段をさらに含むことを特徴とする請求項 10 に記載のコンピュータ装置。

**【請求項 14】**

前記第 2 のオペレーティングシステムイメージを前記第 1 のブートイメージに連結する手段をさらに含むことを特徴とする請求項 13 に記載のコンピュータ装置。

**【請求項 15】**

前記第 1 のブートイメージ及び前記第 2 のオペレーティングシステムイメージと相互作

用するように構成されるブートドライバをさらに含むことを特徴とする請求項 1 4 に記載のコンピュータ装置。

【請求項 1 6】

前記第 2 のオペレーティングシステムイメージの前記ネットワークからの取得は、マルチキャストプロトコルを用いることを特徴とする請求項 1 5 記載のコンピュータ装置。

【請求項 1 7】

オペレーティングシステムをコンピュータ装置上で段階的にブート処理するためのコンピュータ実行可能命令を含むコンピュータ読取可能な記録媒体であって、

前記コンピュータ実行可能命令は、

第 1 のブートイメージをダウンロードするステップ ( 4 0 5 ) と、

前記ブート処理を開始するステップ ( 4 2 5 ) と、

ネットワーククライアントをロード処理するステップ ( 4 3 0 ) と、

前記ブート処理を中断するステップ ( 4 3 5 ) と、

第 2 のオペレーティングシステムイメージをダウンロードするステップ ( 4 4 0 ) と、

前記第 1 のブートイメージを前記第 2 のオペレーティングシステムイメージに連結して前記オペレーティングシステムを形成するステップ ( 4 4 5 ) と、

を含む

ことを特徴とするコンピュータ読取可能な記録媒体。

【請求項 1 8】

前記第 1 のブートイメージを、前記コンピュータ装置上の記憶装置とネットワークロケーションとのうちの何れかから取得するステップをさらに含むことを特徴とする請求項 1 7 に記載のコンピュータ読取可能な記録媒体。

【請求項 1 9】

前記第 1 のブートイメージ及び前記第 2 のオペレーティングシステムイメージは、前記コンピュータ装置上で別々のファイルとして保持されるが、アプリケーションからは単一のファイルシステムとして見えることを特徴とする請求項 1 8 に記載のコンピュータ読取可能な記録媒体。

【請求項 2 0】

前記第 1 のブートイメージを取得するステップではユニキャストプロトコルを用い、前記第 2 のブートイメージを取得するステップではマルチキャストプロトコルを用いることを特徴とする請求項 1 9 記載のコンピュータ読取可能な記録媒体。